

# 社会福祉法人 グリーンアルム福祉会

## 「育児休業からの復職率 100%の職場」

[サービス業]

老人介護複合施設・診療所

代表者名：理事長 町田 滋

従業員数：165 人

創 業：平成 12 年

住 所：須坂市大字仁礼 7 番地 10

T E L：026-215-2662

事業内容：老人介護福祉施設として診療所を有し  
特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、ケアハウス、グループホーム、デイサービスセンター、訪問看護

給 与：17 万～32 万

<http://www.greenarum.jp/>

社会福祉法人グリーンアルム福祉会は、平成 13 年 10 月 16 日豊かな緑が広がる須坂市仁礼地域に「住民の皆さんに健康で充実した安らかな高齢期を過ごしていただきたい」という理念のもとに開設されました。特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、認知症対応型のグループホームや快適な居住空間のケアハウスの入所を中心に、通所系のデイサービス、デイケア、訪問系の訪問介護、訪問看護などが集まる複合施設で、入所者 188 人・通所者 60 人と職員約 170 人が働いています。一般市民も利用できる診療所もあり、3 人の医師が診察を行っています。



### ●働く環境

「女性職員による育児休業後の復職率は 100%。チームワークのとれた職場です」と話すのは総務部人事係の小林直美さんです。小林さんは、この施設の開所当時から子育てをしながら勤務をし、高校 1 年生と小学校 3 年生の二人のお子さんを育てるお母さんです。



「産後は 1 年間の育児休業を経て復帰する職員が多く、それまでの間はみんなでフォローし、お互いに助け合っている職場です。何よりも子育て支援に力を入れています。“助け合う精神”は高齢者を支えることにもつながっていると思います」ととても心強い職場です。職員の皆さんからも“きちんと休暇がとれる、規則正しい時間で働ける”という声があり、とても満足している様子が見られました。

スタッフの勤務形態は日勤の仕事が朝 8 時 45 分から 17 時 30 分、夜勤は通常月に 4～5 回あります。その他、様々な状況に応じて細かな勤務体系をとることができます。複合施設のメリットとして、法人内で希望の部署に異動ができることも大きいポイントだそうです。採用条件には介護職員初任者研修（旧ヘルパー 2 級）の取得が必須で、その後は働きながら 3 年間実務経験を積み介護福祉士を取得してほしいとのことでした。また、夜間に痰吸引を行うため、介護士には喀痰吸引等の資格取得が求められます。職員が自ら内外の研修を受講するなどレベルアップにつなげる支援も充実しています。



### ●“人が好き”が基本条件

転職して 12 年目になる小林裕樹（介護福祉士）さんは、介護職主任として 90 人の入所者がいる部署を 50 人の職員とともに担当しています。

「以前はイベント関係の会社に勤務していました。介護の仕事に転職したきっかけは、自分がお爺ちゃんお婆ちゃん子だったこと、何も恩返しが出来なかったという思いからでした。介護福祉士を取得しましたが、自分の成長を求めて外部のリーダー研修に参加させてもらっています。介護老人保健施設は、利用者様と職員を合わせるとグリーンアルムの中で一番人数が多いので人間関係が大変ですね。利用者



様のためにも、チームで統一した目標を持つことが重要だと思います。利用者様からの“ありがとう”の言葉がこんなにも嬉しいものなのかと胸がいっぱいになることがあります。利用者様が自分を頼ってくれることは喜びであり、仕事をするうえでも励みです。“人が好き”が基本条件の仕事です」

### ● “介護しかない” と思える仕事

勤務経験が16年目になる村石由子（介護福祉士）さんは、入所者50人の特別養護老人ホームで介護職主任を担当しています。



「これまで働きながら二人の子を出産し復職をしました。出勤したらカルテやその日の予定のチェックを行い介護業務に入ります。自宅が近いこともあって続けられています。ちゃんと休暇はとれますし、お互いにサポートし合えるチームワークがあります。チームで技術的な研修を度々行い、皆でレベルアップしています。介護の仕事は腰を痛めやすいと言われますが、腰痛を防ぐコツはあります。何よりも“利用者様のありがとうの言葉や笑顔がうれしい、仕事が楽しい”ということです。楽しくなければこの仕事はできません。自分には介護しかないと思っています」

### ● 長く続けられる仕事

勤務経験13年目の中島優子（看護師）さんは、介護老人保健施設の看護主任で、子育てをしながら働いてきた経験者です。「自宅が近所で、特に子どもが



小学生の頃は働きやすい環境でありがたかったです。仕事は利用者様のその日の身体状況のチェックを

中心に、血圧測定や体温測定、投薬などを行っています。常に職員同士が声を掛け合って一人の利用者様を多職種で対応し、ご自宅での生活が可能になることを目標としています。利用者様がご自宅へ戻る時は本当にうれしくて皆で喜びます。利用者様との会話は人生の先輩の話としても役立っています。長く続けられる仕事だと思っています」

### ● 利用者のためにできること

特別養護老人ホームは“終の棲家”としての利用者を受入れているため看取り介護も行っています。慣れ親しんだ施設内で、自然な形で死を迎える支援に力を入れているそうです。日々の生活を楽しんでもらおうと工夫を凝らし、近隣の保育園の園児たちや外部からのボランティアによるイベントの開催など、様々な楽しい時間を利用者に提供しています。



「利用者様の笑顔は何よりの励みです」と職員の方々は言います。

仲間と助け合える方、相手を思う心を大切にしている方、何より『人が好き』という方、そんな方からのご応募をお待ちしております。



(2016年9月インタビュー)